



Governor's Monthly Letter

2016.7 第01号



日本では、国民の間に今でも「武士道」の精神が脈々と受け継がれています。主君のために、己を捨てて忠義を尽くす武士の姿は「超我の奉仕」を実践するロータリアンに重なります。また、桜は春の一時期華やかに咲き誇りあつという間に散ります。この特徴は多くの日本人の考え方、すなわち物質よりも精神を大事に生きる理想を象徴するものです。

そして、ちりばめられた12個の輝石は、
2770地区内にある12のグループの結束を表しています。
このバッジはロータリー精神と日本人として誇りを表現したものです。

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116エイペックスタワー東館1階
TEL: 048-827-0022 FAX: 048-827-0011 E-mail: ri2770@ri2770.com

2016-17 年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

人類に奉仕するロータリー



111 年の歴史の中で、ロータリーは多くの人にとって多くの意味を持ってきました。会員は、ロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、

キャリアを築き、ほかでは味わえない貴重な経験をしてきました。毎週、世界 34,000 以上のクラブのロータリアンが、語らい、笑い、アイデアを分かち合うために集います。しかし、私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためです。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今日の世界で意義ある奉仕を行う最善の道はロータリー会員になることであると、私は信じています。また、世界に確かな変化をもたらすために、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと考えています。さまざまな分野から熱心で有能な職業人が集まり、壮大な目標を実現できる団体も、ほかにありません。ロータリーには、世界を変える力、ネットワーク、知識の結集があります。ロータリーに限界があるとしたら、それは私たちが自分自身に設けている限界にすぎません。

現在、ロータリーはとても大事なときを迎えています。今はいろいろな意味で今後を決定づける歴史的な節目です。私たちは力を合わせ、世界に重要な奉仕を行ってきました。そして、今、世界の行く末は、私たちのさらなる奉仕にかかっています。世界でもっと大きな「よいこと」の推進力となるために、固い決意と熱意でポリオ撲滅を成し遂げ、勢いをつけてロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する 때가来たのです。

ポリオ撲滅から私たちが学んだ多くのことの中で、最も大切ながら最もシンプルなこと、それは、ロータリー全体の発展を望むなら全員が同じ方向に進まなければならないということです。クラブ、地区、RI のレベルにおけるリーダーシップの継続は、ロータリーを繁栄させ、その秘めたる可能性を最大限に発揮する唯一の方法です。新会員の入会や新クラブの結成だけでは十分ではありません。私たちが目指すのは、単にロータリアンの数を増やすことなく、ロータリーによる善き活動をより多く実現させ、将来にロータリーのリーダーとなれるロータリアンを増やすことです。

ポール・ハリスは晩年、ロータリー設立の経緯について振り返り、次のようにつづけています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」。いつの日か 120 万人以上のロータリアンが一体となり、ロータリー財団や各自のリソースを駆使して人類への奉仕に取り組むことになろうとは、ハリスも想像しなかったでしょう。そのようなロータリーに対してハリスがどんな奉仕を期待するのか、私たちは想像するしかありません。「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承する名誉を授けられた私たちには、このような奉仕を行っていく責務があるのです。

心を込めて

2016-17 年度国際ロータリー会長
ジョン・ジャーム

ご挨拶



国際ロータリー第 2770 地区

ガバナー 浅水 尚伸（越谷南 RC）

いよいよ 2016 ～ 2017 年度が始まります。ジョン・ジャーム会長の掲げるテーマ「人類に奉仕するロータリー」のもとに、当地区も、心新たに、これまでの成果を振り返りつつ、より人々の役に立てるロータリーを目指して、力を合わせて、地区内全ロータリアンが力を合わせてともに頑張っていきたいと思います。

ロータリーは、人々に幸福をもたらすとともに、ロータリアン自身にも、幸せをもたらすものでなければなりません。ロータリークラブが楽しいものであり、人生に充実感を与えるものでなければならないと思います。そのために、ロータリークラブには、会員一人一人が参加意識が持てる奉仕活動を行うことが求められます。そして、新たな社会的需要に応えられる活動を常に模索し、クラブの伝統を尊重しながらも新たなことに挑戦する意欲を持つことが必要です。また、新会員をクラブの一員として温かく迎え入れる雰囲気育てあげ、財団奨学生・米山記念奨学生・青少年交換学生・V T T の経験者など、学友を仲間として受け入れ、協力体制を構築することも必要です。

1917 年 6 月 18 日、米国ジョージア州アトランタで開催された第 8 回ロータリー年次大会における、アーチクラフの「世界で良いことをするために基金を作るのが、きわめて適切だと思われる。」との演説から 100 周年を迎えます。ロータリー財団は、幾多の困難を乗り越えて大きく成長し、国内外でロータリーの行うほとんどの奉仕活動に、その経済的基礎を提供し、多くの人々に救いの手を差し伸べるに至っています。このロータリー財団 100 周年に当たる今年度は、ロータリーが新たな歴史の 1 ページを書き起こすべき節目の年です。また、ロータリーの長年の願いであったポリオ撲滅が目前に迫っています。このような時期に当たり、ロータリーは、単に会員を増やすだけではなく、同じ価値観を持つ多くの仲間・協力者を作っていくことも重要です。そのためには、ロータリーは、もっと、知名度を上げ、どのような人の集まりであるか、何をしようとしている人たちなのかを、世界中で知ってもらわなければなりません。ロータリーへの信頼は、まず、認知してもらうことからです。ロータリアンの皆様には、様々な場面で、ロータリアンである自分を大いにアピールしていただきたいと思います。周囲の人にとっては、あなた自身がロータリーに他ならないのです。

今年度、私はガバナーとして、新たなロータリーの歴史を作るため、責務を全うする覚悟です。地区内ロータリークラブ会員皆さまとともに、楽しいロータリークラブを作り上げるよう共に頑張りましょう。

ご挨拶



(浅水年度の初めに当っての激励を兼ねて)

直前ガバナー

井原 實 (さいたま新都心 RC)

各クラブの会長、幹事をはじめ地区内ロータリアンの皆様から、1年間の暖かいご支援とご協力を賜り、まことに有難うございました。木村地区幹事と副幹事の方々、地区事務所のスタッフの方々、ガバナー補佐、地区役員の方々など、多くの会員に支えられ、ご支援を頂き、お陰様で何とか大役を務めることが出来ました。皆様に心から感謝を申し上げます。

ソウル国際大会には日本からの登録者の7,000名のうち、当地区から430名を越える方々に登録して頂きました。5月28日にソウル市のカンナム地区のインペリアルパレス・ソウルホテルで開催されましたガバナーナイトには506名の方々に参加して頂き、盛大に開催することが出来ました。これも多くのロータリアンとロータリー家族のご支援、ご協力のお蔭であると、重ねて感謝申し上げます。

7月1日より、浅水ガバナー年度が始まりました。浅水ガバナーは弁護士として坂巻パストガバナーの薫陶を受け、ロータリアンとしては越谷南 RC で吉田パストガバナーから薫陶を受けて活躍されてきました。この2年間はガバナーノミニ、ガバナーエレクトとして十二分に力を発揮なさって活躍されてきました。年齢も XX 歳とこの数年間のガバナーの中では若さも十分にお有りになります。これからは、今まで蓄えてこられた多くの知識と経験を活かして、存分に活躍して下さるようお願いいたします。地区活動方針には RI 会長テーマである「人類に奉仕するロータリー」、地区運営方針には「楽しいロータリークラブを作り上げよう」を掲げており、新たなリーダーシップの形として「サーバント・リーダーシップ」を提唱されています。若い、新たな発想で、会員増強、財団・米山への寄付、地域社会と国際社会での革新的な奉仕活動を推進し、2770 地区を更にリードして頂くようお願いいたします。

浅水年度はロータリー財団創立 100 周年記念の素晴らしい年でもあります。新しい、自由な発想で、従来に無いようなお祝いをなさって世界に発信して下さることを期待申し上げて、激励の言葉と致します。

地区のロータリアンの皆様の浅水ガバナーへのより一層のご支援をお願い申し上げて、ご挨拶にかえさせていただきます。

Rotary Serving Humanity

ご 挨拶



国際ロータリー第 2770 地区

地区研修リーダー

井橋 吉一（越谷 RC）

国際ロータリー第 2770 地区の会員の皆様、2016-17 年度浅水尚伸ガバナー年度のスタートのテープが切られました。地区役員、クラブ役員、会員の皆様の協力によりロータリー活動が充実した素晴らしい年度の実現を目指しましょう。

さて、私は年度に入る前の事前研修、クラブ会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会等で効果的なクラブづくりを目指し、クラブが効果的に機能するよう行動しましょうとお願いしました。

その効果的なクラブとは、

1. 会員基盤を維持、増強する。
2. 地元社会及び海外の地域社会のニーズを取り組む成果溢れるプロジェクトを実施する。
3. プログラムへの参加と資金寄付の両面を通じてロータリー財団を支援する。
4. クラブレベルを超えてロータリーで奉仕できる指導者を育成する。

以上のことを意識してクラブの皆さんが取り組まれ効果的なクラブの構築に大きな成果を実現できますことを期待しています。

更に、戦略計画作成にチャレンジして頂きたい。ロータリーの戦略計画は3年が基本となっていますが、例えば1年でも計画作成しますとクラブの進むべき道がクラブ会員全員が認識できます。そして計画作成には幅広く、多くの会員に参加を進めましょう。検討項目としては、1. クラブ会員数、2. 奉仕プロジェクトの取り組みについて、3. ロータリー財団、米山記念奨学会、4. 広報、5. クラブ管理運営等について検討頂くようお願いします。

2016-17 年度が皆さんにとってロータリー活動が充実した一年となりますよう祈念しています。

最後に、2016-17 年度国際ロータリー、ジョン・F・ジャーム会長は挨拶文章の中でポール・ハリスが晩年に残された文章を紹介しています。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません。」

ガバナー補佐挨拶



第1グループ ガバナー補佐
長島 良亮 (浦和 RC)

本年度第1グループガバナー補佐を務めさせていただきます浦和ロータリークラブの長島良亮です。1年間よろしくお願い申し上げます。

本年度のRIテーマは「ROTARY SERVING HUMANITY (人類に奉仕するロータリー)」です。それを受けて、浅水尚伸ガバナーは、地区運営方針として「楽しいロータリークラブを作り上げよう」と掲げられました。ガバナー補佐として、このガバナーの方針を十分理解して、ガバナーの考えを各クラブに伝え、クラブが活性化できるようサポートしていきたいと思います。

浅水ガバナーからガバナー補佐にいくつか指示を頂きましたが、その一つに「グループ内の交流

を支援してください」という言葉が私の心に突き刺さりました。ガバナー補佐の役割を漠然と考えていた私にとってこの言葉は救いの神で、グループ内の交流をすることによってクラブ活性化を図ることが出来るのでは?という結論に至りました。

グループ内の交流は、合同例会や合同事業などがありますが、なかなか調整が難しく実現には時間がかかりそうです。そこで、まずはメーキャップツアーから始めたいと思います。また、浦和クラブで行ったポリオ撲滅キャンペーン(チャレンジ2020というイベント)を第1グループで行うことも考えています。さらに、IMは最近第2グループとの合同開催でしたが、今回はよりグループ内の交流を深める意味で単独開催と致しました。この単独開催のIMで第1グループ内のより深い交流が出来たらと思います。

すべては各クラブの活性化を考え1年間頑張りますので、皆様のご指導ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



第2グループ ガバナー補佐
内田 康信 (浦和北東 RC)

2016-17年 浅水年度、第2グループガバナー補佐に任命されました、浦和北東ロータリークラブの内田 康信です。一年間、何卒ご支援ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、2016-17年度のジョン F. ジャーム RI 会長の今年度のテーマは「ROTARY SERVING HUMANITY (人類に奉仕するロータリー)」です。

ロータリーの初期から、人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由となってきました。今年度の地区活動方針はRIテーマと同一になり、地区運営方針は「楽しいロータリークラブを作り上げよう」です。浅水ガバナーは、原点は親睦と奉仕であり、親睦を通じて心の通じ合う仲間を作り、仲間との絆を基礎に、求められている奉仕活動を実践していきましょうとのご指導を受け、次の項目を実践していきたいと思っています。

1. クラブの戦略計画の立案をする。
2. My Rotary への登録を会員に促す。
3. ロータリー財団設立 100 周年を記念した行事、寄付増進を計画する。
4. 女性、40 歳未満の若年層の会員の増強、維持率 100%を達成する。
5. 地元メディアの協力を得て、ロータリーの存在、ロータリークラブの奉仕活動を地域の方にアピールする。
6. 公共団体、企業、NPO 法人などとの提携を検討する。

以上が本年度、浅水ガバナーが掲げられた目標であり、各クラブの協力を得ながら進めてまいりたいと思います。

ガバナー補佐としての主な役割は、各クラブを定期的に訪問し、各クラブの目標達成度の進捗状況をガバナーに伝え、地区とクラブを円滑に進めるパイプ役になります。ガバナー公式訪問では、各クラブのご意見がガバナーに伝わるよう努力してまいります。本年度はロータリー財団 100 周年の年であり、各クラブが積極的に参加いただきたいと思っています。

皆様のご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



第3グループ ガバナー補佐 中川 高志 (大宮 RC)

2016-2017 年度、第3グループガバナー補佐を拝命いたしました、大宮ロータリークラブの中川高志と申します。

今年は、1917 年アーチ・クラフ RI 会長がアトランタ年次大会で「世界でよいことをしよう」と財団の前身となる基金を提唱して始まったロータリー財団は創立 100 周年の年に当たります。そして、1985 年ポリオ・プラスが発足し始まったポリオ撲滅運動では、ポリオ常在国がアフガニスタンとパキスタン 2 か国となりました。人類の悲願であるポリオ撲滅はロータリアン主導の下、まさに秒読みの段階に入っています。

このような状況の中、今年度ジョン・ジャーム RI 会長は「人類に奉仕するロータリー」を会長テーマにしました。まさにロータリー財団創立 100 年にふさわしい、ロータリーの原点を改めて認識させ

られるテーマです。

そして、浅水年度では RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」を地区活動方針として、「楽しいロータリークラブを作り上げよう」を地区運営方針にしました。楽しいロータリークラブを作り、親睦を通じて、心の通じ合う仲間を作り、絆を深め、奉仕活動を実践していきましょとおっしゃっています。

さて、手続要覧によると、ガバナー補佐は、地区レベルでの任務を遂行し、地区内クラブの管理運営に関してガバナーを補佐するとあります。浅水ガバナーから地区事務所とクラブの懸け橋となり、充実したクラブ運営が実践できるよう以下のことを私たちガバナー補佐に対して求められました。

1. クラブを成功に導くために、有益な情報をクラブに提供する。
2. クラブの現状に関する情報を収集し、ガバナーに報告する。
3. ガバナー公式訪問に向けたクラブへの支援。
4. クラブレベルを超えた指導者の育成。

より素晴らしいクラブ作りのため、第3グループガバナー補佐としてその役割をしっかりと勤めていく決意です。地区のため、第3グループ各クラブのため微力ながらお力になれば幸いです。



第4グループ ガバナー補佐 清水 伸洋 (大宮東 RC)

この度、浅水尚伸ガバナーより第4グループのガバナー補佐を拝命致しました大宮東ロータリークラブ所属の清水伸洋です。弱者ではございますが、地区との架け橋となるよう、RI・地区の考え方を会員皆さんに伝えていき、楽しく活力あるロータリー活動に、努めてまいりたいと思いますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

2016～2017 年度ジョン・ジャーム会長は RI テーマを「人類に奉仕するロータリー」と発表しました。

次のように発言しております。「個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし大勢の努力の結果は、人類の奉仕に捧げなければなりません。結集された努力に限界というものはありません」ロータリーの会員であることは大きな機会であるとジャーム会長は述べております。

2016～2017 年度浅水尚伸ガバナーの地区活動

方針は RI と同一「人類に奉仕するロータリー」地区としてもその活動の方針とします。

地区運営方針は「楽しいロータリークラブを作り上げましょ」。ロータリーの原点は、親睦と奉仕です。親睦を通じて、心の通じ合う仲間をつくり、仲間との絆を基礎に求められている奉仕活動を実践していきましょ。

1. クラブの戦略計画の立案をしてみましょ。
2. クラブではクラブ会員の變動などの各種情報をロータリークラブ・セントラルに常に繁栄させ、会員の My Rotary への登録を促して下さい。
3. ロータリー財団設立 100 周年を記念した行事を計画しましょ。
4. 仲間として価値観を共有できる会員を積極的に入会させましょ。
5. 地元メディアの協力を得て、ロータリーの存在、ロータリークラブの奉仕活動を地域の方にアピールしましょ。
6. 公共団体、企業、NPO 法人などとの提携を検討しましょ。

と定められました。

第4グループの会員の皆様には、明るく楽しいクラブにする為に、ご指導、ご鞭撻、ご協力を宜しくお願いします。



第5グループ ガバナー補佐
大貫 等 (上尾西 RC)

浅水年度第5グループガバナー補佐を拝命されました上尾西 RC の大貫等と申します。浅水ガバナーのご指導のもと、そして第5グループ会員の皆様のご理解ご協力を賜りながら懸命に務めさせていただく所存でございますので、どうぞ宜しくお願い致します。

そして第5G大国博直前ガバナー補佐（上尾北）様お疲れ様でした。堅実で誠実なガバナー補佐としてのご活躍、大変学ぶことが多く幾重にも勉強させて頂きました。中でも姜尚中氏の講演がありましたIM、また満開の桜のもと行われたIMゴルフも大勢の参加の中、盛大で楽しく且つ有意義に開催され、第5グループが

より一層の交流を深めることが出来ました。また各クラブがそれぞれの特徴を生かしながらの奉仕活動、またひとつ各クラブに新たな歴史を刻められたのではないかと、改めて大国様に対し深く敬意を表したいと思います。同時に上尾北 RC 会員の皆様のクラブ挙げての献身的な一年間のサポートに感謝申し上げます。

さて本年度ジョン・ジャーム R I 会長のテーマ「人類に奉仕するロータリー」、そして浅水ガバナーの地区運営方針であります「楽しいロータリークラブを作り上げよう」を胸に刻み、ガバナーの方針や意向をクラブに伝達しクラブが活動しやすいように、またクラブの現状をガバナーに随時報告する「橋渡し」の任を全うしていけますよう、そしてより一層第5グループの輪が広がられますよう努めてまいります。第5グループの皆様、上尾西もホストクラブとして頑張りますので、クラブ共々宜しくお願い致します。



第6グループ ガバナー補佐
寺門 孝彦 (春日部 RC)

第6グループのガバナー補佐を拝命しました春日部ロータリークラブの寺門孝彦です。ムッシュ・ガバナー浅水尚伸様の下で、紳士的かつ淑女的なグループ運営に努めたいと存じます。

わが第6グループは、石井治様・関口博正様・三國明様の3パスト・ガバナーがご健在です。今もアグレッシブに奉仕活動に励んでおられます。こうした諸先輩方の指導を受けながら、春日部・杉戸といった南埼玉葛地域の牧歌的な風を生かした奉仕活動に励みたいと存じます。

また、この地域は、県下有数の田園地帯でもあり、農村的なコミュニティが未だ残っています。こうした環境の中で、会員相互の親睦と会員家族を含めた「ロータリー家族」を大切にすると共に、世界の平和と繁栄と地域の活性化に

貢献できるような新世代・青少年を育ててゆきたいと思っています。

かつて、マックス・ヴェーバーの研究者で経済史家の大塚久雄博士は、今日の資本主義の発展と宗教的倫理観の醸成には、牧歌的な農村社会が寄与してあまりある、と述べられました。この農村社会こそがイギリス、フランス、ドイツといったヨーロッパの先進資本主義国だったので。いずれの国も「革命」を経験しました。しかし、わが日本に「革命」はありませんでした。

「革命」のない日本、その中の農村社会、南埼玉葛地域において、「レボリューション（革命）」ならぬ「イノベーション（革新）」の嵐を起こすべく、ロータリアンと共に、新世代・青少年の若き血潮を感じながら、『人類に奉仕するロータリー』をグループ内6クラブの皆さんと共に、大空に舞い上がる大風を目指して精進したいと思います。

ムッシュ・ガバナー浅水年度1年、どうぞ宜しくお願いいたします。



第7グループ ガバナー補佐
岩上 幸二 (幸手 RC)

今年度第7グループガバナー補佐に任命されました幸手 RC の岩上幸二です。私事でございますが弱冠 28 歳のとき幸手ロータリークラブに入会致しました。今年度 50 周年を迎えるにあたって頑張りたいと思います。2016～17 年度 RI 会長 ジョン・ジャーム氏は「人類に奉仕するロータリー」を RI テーマとし「楽しいロータリークラブを作り上げよう」を地区運営方針としております。

第7グループは5クラブですが、RI 会長、



第8グループ ガバナー補佐
小林 操 (越谷北 RC)

ロータリー財団 100 周年の 16-17 年度浅水尚伸ガバナーのもと第8グループガバナー補佐を務めることは身の引き締まる思いがあります。

ロータリーは一生の付き合いと思いダラダラ担当役職を受けて来ましたが身近な諸先輩がいる第8グループの責任を果たせるか、本心不安で一杯です。

2004 年越谷北ロータリークラブ会長の後、いわゆるお礼奉公で地区委員を受けて 12 年、ロータリー財団関係委員会を一筋に来て、ロータリーの凄さ、良さ、優しさを感じることができました。ロータリー財団の活動はロータリアンの気持ちが繁栄した活動です。ロータリーに親しみを感じていないロータリアンは多くの寄付をしないでしょう。自分の出した寄付が多くの人々を救い人々に役立っていることを理解すると、まさにロータリーの優しさ良さ凄さを感じ

地区ガバナーの方針、目標を踏まえて会員相互の親睦、奉仕にむけて頑張りたいと思います。各クラブとも会員増強を優先事項に、グループ内外のメーキャップを推奨、地区セミナー IM、地区大会には会員の参加を推進し、今年度は財団 100 周年記念事業の促進と財団への寄付の増進とポリオの撲滅の達成等、種々の事を会員の皆様にご協力をお願いしたいと思います。

各クラブへの訪問や会長幹事会などを通じて有益な情報交換、ガバナー公式訪問には全会員の参加をお願いし、ガバナーの基調講演に耳を傾けるよう会員の皆様をお願い致します。

第7グループの会長幹事会やクラブの訪問を、お互いの親睦と理解を深めたいと考えておりますので1年間宜しくお願い申し上げます。

じ、何とか一助になりたいと思うのが自然です。

ロータリーは奉仕の理念を奨励し育み、財団は具体的に達成すること目的にしていますが、ポリオ撲滅活動のように具体的に目に見える成果はロータリアン全てに感激と感動を与えます。

ロータリー活動の源はクラブ活動から始まります。一般的に年齢制限はなく老壮青がクラブをまとめ、奉仕を追求し実践活動をしていきます。元気でロータリー歴の長い会員をアドバイザーとして利用していますか。企業で後継者を育てるには早く若い有望な人材を責任ある立場にすることです。それを見守るのがベテランです。良いクラブを作るには老壮青の適材適所、相互補完を考えると自然とまとまってくると思います。

ロータリークラブは奉仕する集まりで、活動して慰労親睦をします。大きな活動をすれば親睦懇親は明日の奉仕の糧になるでしょう。

クラブ、グループ、地区が一丸となり「人類に奉仕するロータリー (ROTARY SERVING HUMANITY)」の標語のもと、楽しいロータリークラブを作り上げましょう。



第9グループ ガバナー補佐 北川 賢一 (八潮イブニングRC)

2016年～2017年度第9グループガバナー補佐を拝命致しました八潮イブニングロータリークラブ北川賢一です。浅学非才微力ではありますが一生懸命努力する所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。本年度R I会長ジョンFジャーム氏は「人類に奉仕するロータリー」と言うR Iテーマを掲げました。このテーマはロータリーの基本に戻ることを示され、浅水ガバナーは地区活動方針のテーマもR Iテーマと同じく統一することに決められ「人類に奉仕するロータリー」のもと、地区としての目標達成に向けて、各クラブの協力と支援を受けて、目標が達成出来るように取組んで行く所存です。

2016-17年度の地区目標

1. 財団100周年記念事業の促進と財団への寄付の増進
2. ポリオ撲滅の達成
3. 会員増強(40歳未満の会員、女性会員)と会員維持率100パーセントを達成
4. 青少年奉仕部門事業への積極的な参加(R Y L A、

インターアクト、ローターアクト、青少年交換)

5. R I会長賞への挑戦

2016-17年度の地区数値目標

1. 会員数 3,000名
2. 出席率 90%を目標にメーキャップを活用する
3. 財団寄付額・1人当たり 年次基金 200ドル
ポリオプラス 50ドル
・1クラブ当たり

初めてのベネファクター※1名

(50名以上のクラブは2名)

※注:ベネファクターとは恒久基金に累計1,000ドル以上寄付された方

4. 米山寄付額・1人当たり 25,000円

(普通寄付:5,000円、特別寄付:20,000円)

また浅水ガバナーは地区運営方針「楽しいロータリークラブを作り上げよう」と言うテーマを掲げました。各クラブへ戦略計画を立案して、クラブの活性化を計ってくださいとのことです。今年度グループ内5クラブの内3クラブが周年事業を迎えます。グループ一丸となり、協力仕合い成功に導きましょう。そして周年事業を成功することによりクラブは活性化に推進して行くでしょう。ガバナー補佐として「クラブの活性化」を目標に取り組んで行く所存です。クラブ会員の皆様、目標が達成出来るよう宜しくお願い申し上げます。



第10グループ ガバナー補佐 長谷川 吉昭 (吉川RC)

ジョン F. ジャームR I会長は、国際協議会におきまして、R Iテーマを「人類に奉仕するロータリー」「ROTARY SERVING HUMANITY」と発表されました。又、地区では「楽しいロータリークラブを作り上げよう」と運営方針が決まりました。

私は、R Iテーマ、浅水年度の運営方針をお聞きしてガバナー補佐として、自分の人生経験やロータリー歴としての立ち位置でどう行動できるかを考えてみました。ロータリーの原点は、地区運営方針にもある通り親睦と奉仕だと思います。この「当たり前の事を見過ぎずチャンとやる」すなわち「凡事徹底」こそ私共の一番大事な事だと思います。「親睦と奉仕」の気持ちを常に抱き一人のロータリアンがクラブ会員と手を携え、それを第10グループ、2770地区会員、との活動の中で、目的に向かって手を携え一歩ずつ進んで行ければと思っております。

「凡事徹底」の精神は、全て自分が源です。この一年間、強い意識と意志で努め切ろうと思います。

何事も「やってみないとわからん。しかし、やった分だけ返ってくる」を胸にやり切って参りましょう。

又、「人類に奉仕する」為には一人でも多くの方たちに賛同いただき仲間作りを推し進めていかなければなりません。とりわけ、特に、若い仲間、女性会員の増強は意欲的に取り組んで行きたいと思っております。皆様のお知恵を頂き、年間を通して理念、価値観の共有できる方に呼びかけ会員増強を推し進めてまいりましょう。

「手を携える」という思いは、積極的に、他クラブとの友情を元に、親睦を図り関わりを持つことで新しい発見や友としての仲間を承認することが出来ます。

個と、個が携われれば大きな力と変貌できます。その力を地区や世界のロータリアン、まだまだ私たちの援助を期待している大勢の子供たちと携われる事になります。

私たちには、大勢の諸先輩方がおります。貴重な経験、知識を頂き、常に「学ぶ、真似る」の意識の中で自己表現してまいりましょう。

この「携われる」ことの機会に感謝をして、未熟な私ですが、皆様から多くのご助言を頂き浅水ガバナーにご指導いただきながらガバナー補佐として明るく、元気に一歩、一歩進んで参りたいと念じております。

最後に「念ずれば、花開き、思いありて実を結ぶ」一年間よろしくご指導くださいませ。



第11グループ ガバナー補佐
国武 充 (川口南 RC)

2016-17 年度第11 グループのガバナー補佐を拝命いたしました川口南ロータリークラブ所属の国武充です。1 年間何卒宜しく願い申し上げます。

今年度の RI テーマは『ROTARY SERVING HUMANITY (人類に奉仕するロータリー)』そして地区運営方針は『楽しいロータリークラブを作り上げよう』です。

よって今年度はこの『奉仕』と『親睦』という 2 大テーマの実践を念頭に、少しでも各クラブの皆様のお役に立てるよう取り組んでいきたいと考えております。

私は今年度でちょうど入会 10 年目となります。まだまだ諸先輩方々からご指導を頂かなくてはならない立場であり、若輩である事は認識しております。

しかし人はインプットしたものしかアウトプットできません。今までのロータリーでの経験値、さらにこの一年間各クラブへの訪問やイベントへの参加を通じて、一つでも多くのよいところをインプットし、それをひとつでも多くアウトプットへ繋げられれば幸いです。

そして各クラブの目標達成へのお手伝い、地区と各クラブとの橋渡し、ガバナーとのパイプ役として 1 年間しっかりとがんばっていきます。

最終的に年度が終わる頃『あいつは人間も軽かったけど…フットワークも軽かったな…』そんな風に言ってもらえるよう日々精進してまいりますので、各クラブの会長、幹事を始めとする会員の皆様のご指導ご鞭撻のほど何卒宜しく願い申し上げます。



第12グループ ガバナー補佐
市野 一郎 (川口むさし野 RC)

国際ロータリー第 2770 地区 2016 ~ 2017 年度第 12 グループガバナー補佐を委嘱されました川口むさし野ロータリークラブ所属の市野一郎です。

クラブ入会は 1994 年 12 月 22 日です。早いもので入籍 20 年になりますがその間、10 代目、19 代目、25 代

目の会長を務めさせて頂きました。在籍中に私の紹介者から学んだのは例会出席への努力・会費の早期納入・ロータリーを学ぶ・3 カ条でした。それがクラブ奉仕の始まりで社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕そして職業奉仕につながる事の事でした。

今期ガバナー補佐を務めるにあたっての方針は地区の運営方針“楽しいロータリーを作り上げよう”のとおりロータリーの原点の親睦と奉仕です。年 6 回の「会長・幹事」会と及び年 3 回のクラブ訪問を通じて親睦と心の通じ合う仲間を作り求められている奉仕活動に近づく事に努力します。よろしく非力の私にご協力下さい。

2016 ~ 17 年度 国際ロータリー第 2770 地区 地区大会記念ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会のご案内

実行委員長 一柳 昌利 (越谷北 RC)



2016 ~ 17 年度、浅水尚伸ガバナー年度がスタート致しました。新しい一年の始まりでございます。地区大会は 11 月 12 日、13 日の両日で開催でございますが、地区大会に先立ち地区大会記念ポリオ撲滅チャリティーゴルフ大会を盛大に開催したいと思います。

ホストクラブであります越谷北ロータリークラブ松井昭夫会長を中心として大会会場の選定をして参りました。大会規模にふさわしい名門、大利根カントリークラブにて開催の運びとなります。たくさんの方々に気持ちよくプレーしていただくように日照時間等考慮いたしまして例年より早めの開催でございます。年に一度の地区全体の親睦の場でございます。皆さま奮ってご参加いただきますようお願い致します。

◎ 開催日

平成 28 年 10 月 3 日 月曜日
(雨天決行)

◎ 開催コース

大利根カントリークラブ
東コース、西コース (36 ホール貸切)
茨城県坂東市下出島 10
TEL 0297-35-1344

◎ 参加人数

地区内 73 クラブ (1 クラブ 4 名)
パストガバナー及び地区役員を含む約 340 名

2016年 公式訪問日程表

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月
土				1		
日				2		
月		1 川口中央		3 地区大会記念ゴルフ大会		
火		2 越谷		4 三郷中央	1	
水		3 庄和大宮シティ		5 浦和ダイヤモンド	2	
木		4 八潮みらい	1 上尾	6 戸田イブニング	3 文化の日	1
金	1	5	2 三郷	7	4	2
土	2	6	3	8	5 川口モーニング	3
日	3	7	4	9	6	4
月	4	8	5	10 体育の日	7	5
火	5	9 八潮	6 大宮中央	11 川口北東幸手中央	8 川口西	6 蕨
水	6	10 三郷ウエズデー	7 浦和北	12 上尾西八潮イブニング	9	7
木	7	11 山の日	8 戸田西	13 桶川イブニング	10	8 久喜
金	8	12	9 上尾北	14	11	9
土	9	13	10 さいたま大空	15	12 地区大会	10
日	10	14	11	16	13 地区大会	11
月	11 さいたま新都心	15	12 浦和南	17	14	12
火	12	16	13 さいたま樺	18 岩槻東	15	13 川口東松伏
水	13 川口北	17 蓮田	14 越谷北	19 桶川	16 鴻巣水曜	14
木	14 浦和東	18 岩槻	15 川口	20 鳩ヶ谷春日部イブニング	17 春日部西	15
金	15 浦和	19	16	21	18	16
土	16	20	17 北本	22	19	17
日	17	21	18	23	20	18
月	18 海の日	22 戸田	19 敬老の日	24 埼玉ゆず	21	19
火	19 大宮南	23 大宮北東	20 大宮北	25 越谷中	22 川口シティ鳩ヶ谷草加松原／草加中央	20 さいたまシティ
水	20 大宮東	24 幸手	21 川口・鳩ヶ谷武南	26 大宮吉川	23 勤労感謝の日	21
木	21 さいたま中央	25 越谷東	22 秋分の日	27	24 浦和中	22 越谷南
金	22	26	23	28	25	23 天皇誕生日
土	23	27	24	29	26	24
日	24	28	25	30	27	25
月	25	29 大宮西	26	31	28	26
火	26 鴻巣	30 浦和北東	27 春日部		29	27
水	27 春日部南	31 川口むさし野	28 川口南		30	28
木	28 栗橋		29 杉戸			29
金	29		30			30
土	30					31
日	31					

上段：昼点鐘 下段：夜点鐘
 [/] : 合同クラブ

※予定は変更になる可能性があります。